



## CONTENTS

キューケンホフ公園 2012開園！ 今年のテーマはポーランド  
 「ダッチ・リリー・デー2012」ユリの関連16社がハウスを一斉公開（5月22日から25日）  
 『チューリップセレクト2013』の品種が決定しました  
 サルコジ仏大統領の花の知識はすごいらしい！  
 成長し続ける中国 日米を抜きオランダにとって最も重要な球根の買い手に  
 オランダ大使公邸で庭園の一般公開がおこなわれます（4月13日、14日の両日）  
 すべてが新しい！ 10年に一度の祭典「フロリアード2012」(フェンロー)いよいよ開幕です

## CONTENTS

### キューケンホフ公園 2012開園！ 今年のテーマは「ポーランド」



春！日本で春を告げる花と言えば桜ですが、オランダはもちろんチューリップです！青い空のもと、広大なチューリップ畑が目にも鮮やかな色のパレットとなる季節を心待ちにしている人がたくさんいます。オランダだけではなく世界中に。

チューリップの国オランダへの観光はまさに今がおすすめです。世界で最も美しい春の庭園キューケンホフ。今年の開園は3月22日から5月20日までの連日（午前8時～午後7時半）となっています。約32ヘクタールの園内はチューリップ、水仙、ムスカリ、ヒヤシンスはもちろん、クロッカス、アネモネ、フリチラリア、シラー、アイリスなどたくさんの花が咲き乱れ、花の色、香り、小鳥の声、池の水、緑の芝のまぶしさ。歴史を感じさせる巨大な樹々の緑と花々のハーモニーに心奪われること間違いなしです。また園内にある3つのパビリオンではさまざまなフラワーショーを常時開催しています。

特に注目すべき場所は、数年前から選ばれているテーマ国の展示。アメリカ、ロシア、ドイツと続き、今年のテーマ国は東欧「ポーランド」。キャッチフレーズは、「the heart of Europe」ヨーロッパの中心的な位置だけでなく文化や歴史の重要性を表わしています。オランダにとってポーランドは花き球根の重要な輸出市場というだけでなく、観光にとっても成長源となっています。2011年には、ポーランドからの訪問者約9000人がキューケンホフ公園のゲートを通りました。公園ではインスピレーションガーデンや、フラワーモザイク、そして特別テーマルートなどの展示があります。見どころの一つであるフラワーモザイクでは、作曲家「ショパン」を題材に球根花で花の絵が描かれます。球根は、昨年10月に植えつけられました。花の絵のサイズは12×20メートルもあり、球根50,000個を使って構成されています。

先日、ポーランドの大統領夫人である、アンナ・コモロフスカさんが第63回目となるキューケンホフ公園の公式オープニングセレモニーに参加されました。これを記念してつぼみの色が魅力的な新しい切り花品種に大統領夫人の名前がつけられています。

<http://www.keukenhof.nl/jp/>





### 2012年のフラワーパレード(コルソ)は、4月21日(土)開催

4月21日(土)、オランダの数ある花のパレードの中でも最も有名なパレードが、ノールドワイクからハーレムまでの約40キロにわたり、球根花が咲き乱れるこのエリアで繰り広げられます。正午には『キューケンホフ・コルソ通り (Keukenhof Corso Boulevard)』を通過する予定。「春の訪れ」としても知られるこのパレードには、花で美しく彩られた約20台の山車が参加し、パレード以外にも30台以上の山車が展示されます。この花のパレードのプロモーション部隊がパレードを先導し、その後にマーチングバンドが続きます。

\* フラワーパレード詳細がわかるサイト [www.bloemencorso.info](http://www.bloemencorso.info)

「ダッチ・リリー・デー2012」ユリの関連16社がハウスを一斉公開(5月22日から25日)

「ダッチ・リリー・デー2012」ユリの関連16社がハウスを一斉公開(5月22日から25日)

<http://www.dutchlilydays.nl/UK/index.html>

昨年、初めて開催された「ダッチ・リリー・デー」が、今年もまた開催されます。

ユリの種苗会社と輸出企業が主催するこのイベントは、2012年5月22日火曜日から、5月25日金曜日までの4日間の会期でおこなわれます。

2011年に引き続き、今年も基本のフォーマットに変更はありません。昨年と同様、すべての参加企業が一丸となって協力し、この期間、訪れる国内外の皆さまにドアを開けてお迎えます。

今年は昨年の参加企業15社に、新たに1社が加わり、16社が参加します。

昨年、1週間という短い期間に集中して、一斉に「オープンハウス」を開催した実験的な試みでは、来場者と関係者から数多くのご意見とご感想を受け取ることができました。

これらの貴重なご意見、感想は、2012年の「ダッチ・リリー・デー」に活用されています。

「ダッチ・リリー・デー」は、さまざまに異なる視点から、目的を持って開催されています。



まず第1に、オランダ国内や海外からの訪問客にとって、一回の出張で種苗会社と輸出会社をワンストップで訪ねる機会を作りだしています。多様な品種を開花状態でチェックでき、オランダのユリの全体像を観ることができるまたとないチャンスです。



2番目に、この機会は海外だけでなくオランダ国内のユリのプロモーションに刺激を与えます。

このプロモーション効果への利点では、いくつかの専門雑誌はもちろん、普段あまり関連のない雑誌にもニュースとしての価値を与えることになり、ユリの栽培や花全般について光を当てる機会になりました。

参加企業にとっても、この一週間は、重要なイベントとなっています。このイベントを開催することで、オランダ国内での主要な生産企業、また、花輸出企業としての重要なポジションを安定的に維持し続けることにつながります。

「ダッチ・リリー・デー」の期間中、参加企業は、自分たちの試験圃場と施設で自らの取り扱い品種や新品種などを展示公開します。

昨年おこなった第一回目の成功は、参加企業を増やすことにつながりました。Laan Flora Facilities社は、今年、以下の参加企業のリストに加わりました。

「ダッチ・リリー・デー」を支える16の企業は、以下の通りです。Van den Bos Flowerbulbs、Bot Flowerbulbs、De Jong Lelies、Laan Flora Facilities BV、Lily Company、Mak Breeding、Marklily、Onings Holland Flowerbulbs、The Originals、C. Steenvoorden、G.A. Verdegaal、Gebr. Vletter & Den Haan、VWS Export - Import of Flowerbulbs、World Breeding、Zabo Plant、Van Zanten Flowerbulbs。



ご来場されるみなさんは、このウェブサイトで行きたい会社の住所と便利な地図を活用いただけます。それでは、5月22日から25日までの「ダッチ・リリー・デー」で、お会いしましょう！

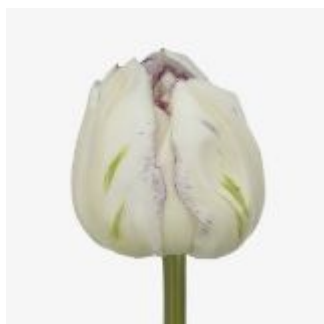
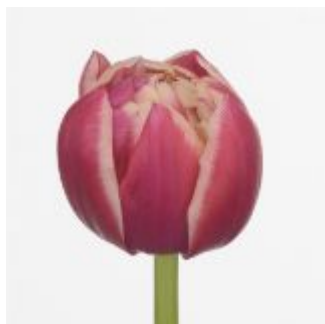
HP : <http://www.dutchlilydays.nl/UK/index.html>



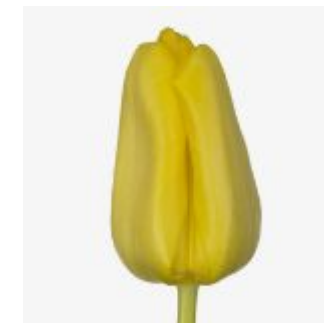
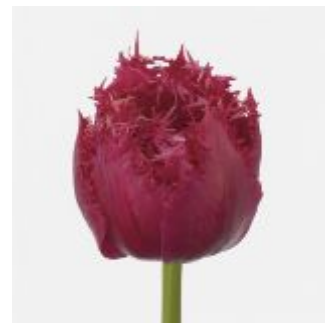
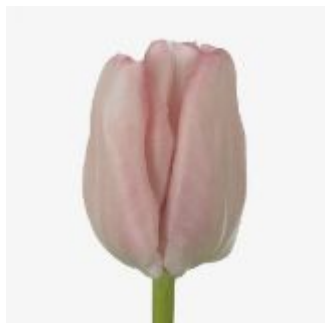
『チューリップセレクト2013』の品種が決定しました

毎年、好評をいただいているおすすめ品種紹介、『チューリップセレクト』。ここで選ばれた花は、花型・色・入手のしやすさ・

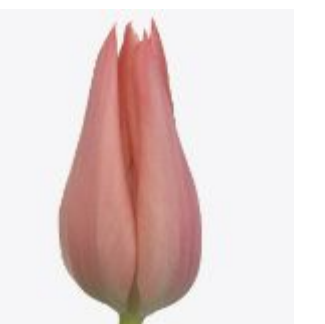
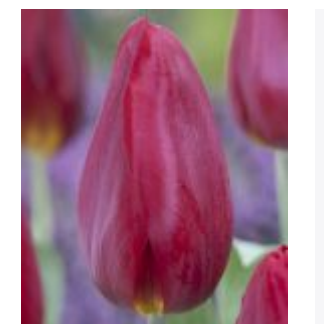
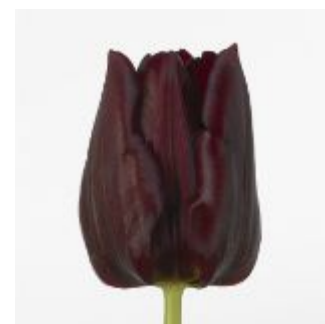
珍しいもの、注目の新品種など・・・おすすめしたいポイントをさまざまに検討してセレクトされています。来シーズン2013年の花 12 品種が決まりましたのでご紹介します。



1. Columbus コロンブス 2. Orca オルカ 3. Normandie ノルマンディ 4. Dutch design ダッチデザイン



5. Rejoyce リジョイス 6. Kingston キングストーン 7. Lion's Glory ライオンズグローリー 8. SnowCrystal スノークリスタル

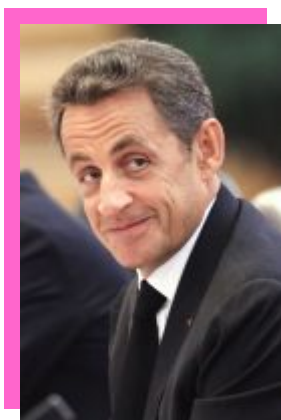


9. Irene parrot イレーネパロット 10. Mascara マスカラ 11. Strong love ストロングラブ 12. Sanne サンネ

## サルコジ大統領の花の知識はすごいらしい！

フランスのニコラス・サルコジ大統領は、夫人のカーラ・ブルーニさんに花のプレゼントを欠かさない、その金額は毎日800 ユーロにのぼる、という記事を以前にご紹介しました ([IBC ニュースレター第6号](#)参照)。

さて、今回ご紹介する記事は、大統領が、ただ花を贈っているだけではなく、そうとう花に詳しいというニュースです。



### サルコジ大統領はすべての花を知っている！

ニコラス・サルコジ大統領は、チューリップやバラについてのすべてを知っています。大統領は、その花の知識によって、彼の妻の心をつかむのに成功しました。

この話は、BBC が火曜日に放送予定のインタビュー番組の中で、カーラ・ブルーニ・サルコジ夫人が語ったことです。エリゼ宮の庭を散歩中、サルコジ大統領はすべての花のラテン名(学名)も知っていました。

「その時、神様が私にささやくのを聞きました。『彼は大統領であるけれども、同時に花のこともすべて知っている。この男と結婚したほうがよい。』と」 (Telegraaf 電子版より)

## 中国は、やがて米国と日本の役割を引き継ぐ

「中国は 10～15 年後に米国や日本を抜き、最も重要なオランダ花き球根バイヤーとなるであろう。」これは、ラボバンクのピート・ムールラント会長がオランダ王国球根生産者協会の 150 周年記念式典でのスピーチで語ったことばです。

ムールラント会長は、景気の「二番底」を恐れてはいないが、為替レートや金利の変動により、花き球根取引の前途は多難であると見ており、「実際、これまでの危機の根本的な原因を明らかにするために何もなされていない」と述べました。

ムールラント氏は経済を航空機にたとえ、最も重要なエンジンである米国は、半分のパワーでしか稼働していないと話します。「その機体の燃料は尽きかけているようだ。米国は巨額な負債を負い、多額の財政赤字を抱えている。金利を低く抑え、政府は数々の景気刺激策を実施してきたが、今となっては効力を失った手段にしか見えない。米国の景気回復にはあまり期待していない。将来、我々にとって米国市場の重要性は衰えるだろう。」

米国に次いで最近まで 2 番目に重要視してきたのは、日本経済でした。「日本のエンジンは社会の高齢化などの理由で失速している。人々は貯蓄への関心が高く、高齢者でさえ老後の生活を維持するために貯蓄している。」

欧州のエンジンは 2 つの異なるパワーで動いています。ここへ来て、EU 加盟国が多額の負債を抱えた政府の国債などを保証する最大 7500 億ユーロの救援策を打ち出したので、欧州経済は平静さを取り戻してきました。しかし欧州南北間の経済の不均衡は解決されておらず、私たちラボバンクでは欧州経済の先行きに対し、穏やかな成長以上は期待できないと見ています。

エンジンが全開で稼働しているのは中国だけです。近頃、中国の経済成長に対し様々なことが話し合われていますが、ムールラント氏はこの傾向が今後も続くことを期待しています。「18 世紀までは、中国とインドの経済が世界経済の半分を占めていた。19 世紀に起きたアヘン戦争と毛沢東支配下での経済停滞により両国の重要性は一時的に衰えたが、10～15 年後には中国は世界経済の主要なエンジンになるだろう。経済成長は世界貿易によって生み出され、中国はその活動の中心地である。わが国が中国抜きで今年度 1.5% の経済成長を達成するのは不可能であっただろう」ムールラント氏は、経済のエンジンは今、左右の翼で異なる速度で動いているため、架空のジェット機は基本的に周回飛行を続けているのだと語りました。（ ヤンセース・ブロン氏の記事から ）



## オランダ大使公邸で庭園の一般公開がおこなわれます（4月13日、14日の両日）

4月13日（金）と14日（土）の両日、オランダ大使公邸の庭園が一般公開されます。

オランダ大使公邸の庭園を一般公開 日時：4月13日（金）14日（土）、10：00～16：00まで

<http://bit.ly/GKCHkF>

オランダ王国大使館では、春の到来を祝して、オランダ大使公邸の庭園が一般公開され見学できます。公開の日時は、4月13日(金)および14日(土)の午前10時から午後4時までの2日間です。ぜひ、お出かけください。

\* 入館方法・見学のきまりなどはホームページでご確認のうえお出かけください。

<http://japan-jp.nlembassy.org/>



## すべてが新しい！ 10年に一度の祭典「フロリアード2012」(フェンロー)いよいよ開幕です

いよいよ10年に一度の花の祭典、「フロリアード2012」が開幕します。会期は4月5日から10月7日までの約半年間です。

フロリアードはオランダで10年に一度開催される国際的な園芸博覧会。2012年に6回目を迎えます。今回はベルギーやドイツ国境に近い南東部のフェンローで開催。今年のテーマは、自然との共存。世界各国から100以上の出展者が集います。会場となるエリアは緑豊かで、森によって結



ばれた5つのユニークなテーマゾーンから構成されます。絶えず変化する自然を目で見、肌で感じ、全身で体験する素晴らしい世界が来場者を待っています。

フロリアードは、日本国政府を含め世界約40カ国が参加する国際的なイベントです。園芸大国オランダの最先端の垣間見ることはもちろん、世界の文化を知り、交流する機会となります。屋外展示、屋内パビリオンは、どちらも工夫が凝らされ、モデルガーデンは目を楽しませてくれます。世界各国の音楽、ダンス、文学、シアター、ビジュアルアートをフィーチャーしたプログラムが毎日おこなわれます。また、先鋭的

でサステナブルなアイデアや、画期的な住居・職場環境についてのコンセプトが具体的にわかるような展示が目玉です。

\* 昨年のニューズレター6月号の特集もご覧ください。 <http://www.kyukon.info/Bol-tot-bloemen027-1106.pdf>

フロリアード関連情報はこちらから！

\* 日本の公式サイト <http://www.floriade2012.jp/>

\* 日本ブースの概要 <http://www.floriade2012.jp/booth/>

\* 日本の事務局ツイッター・アカウント <https://twitter.com/#!/floriade2012jpn>

\* オランダ政府観光局サイト

<http://www.holland.com/jp/tourism/article/floriade2012.htm>

[http://nbt.cocolog-nifty.com/trade\\_press/2012/03/101-734d.html](http://nbt.cocolog-nifty.com/trade_press/2012/03/101-734d.html)

いよいよ4月1日から「iBulb Japan アイバルブ・ジャパン」としての活動がスタートします。ニューズレターは隔月発行となりますが、今後もみなさまのお役に立てるような内容をお届けできるよう努めてまいります。それでは、また！

オランダ国際球根協会ニューズレター第035号(2012年3月号) 発行：オランダ国際球根協会

HP：<http://www.kyukon.org/> メールアドレス：[ibc@aurorajp.com](mailto:ibc@aurorajp.com)